

街路事業

おやまとちぎ 小山栃木都市計画道路3・4・212号 栃木駅東通り とちぎえきひがしどお

(一般県道 南小林栃木線) 河合町工区 かわいちょう

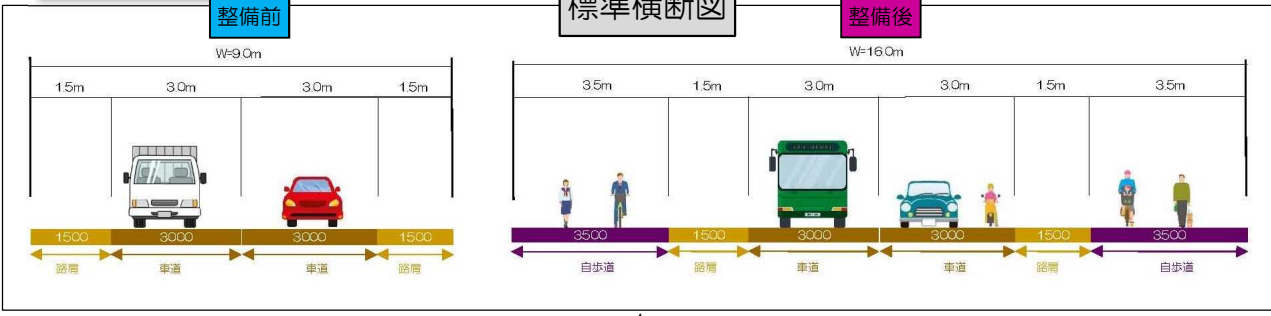
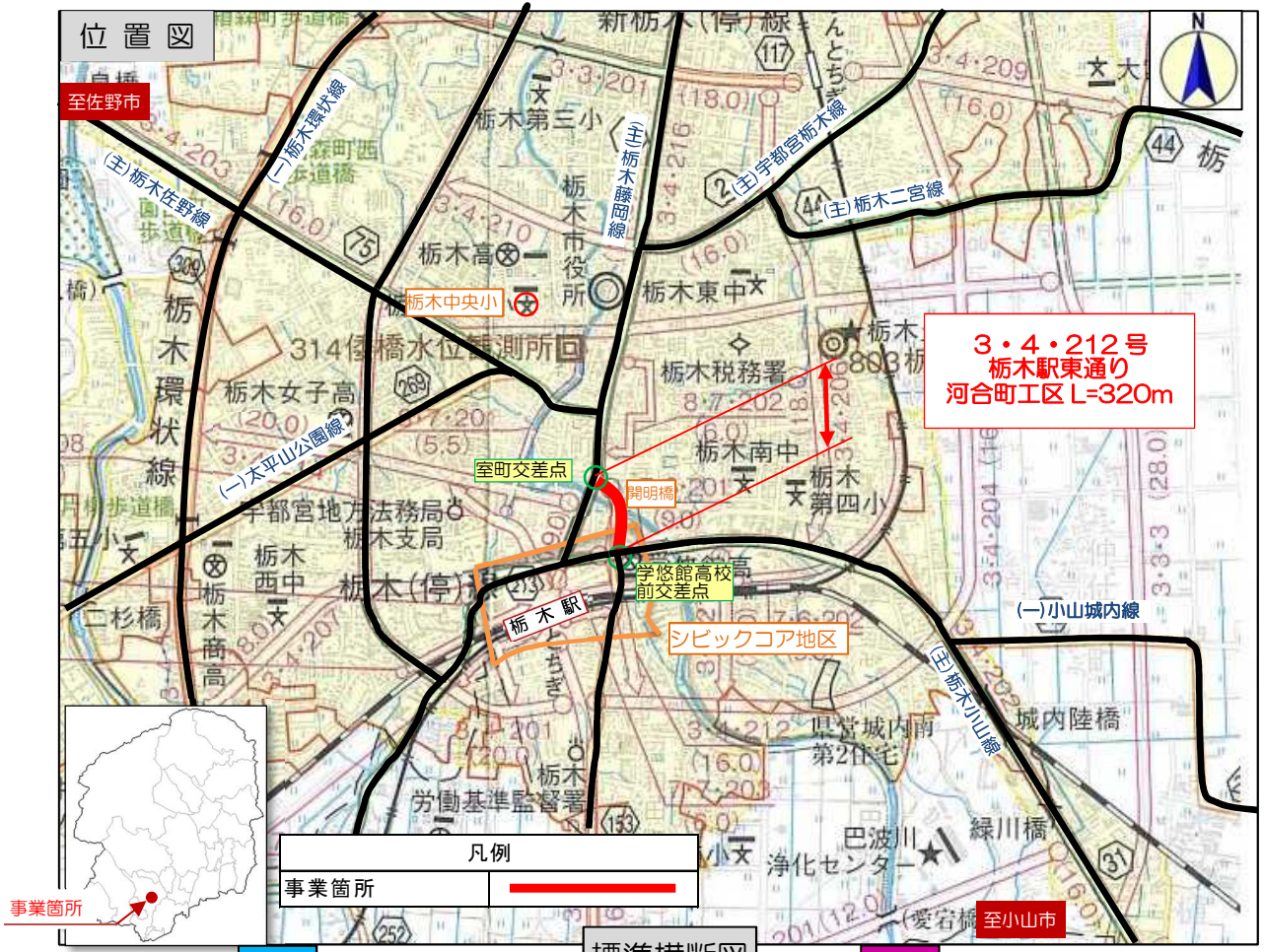
(平成30(2018)年 1月 供用)

1. 事業概要

小山栃木都市計画道路3・4・212号栃木駅東通りは、市中心部と栃木駅周辺のシビックコア重点整備地区を直結する重要な路線であり、周辺には公共施設や文教施設が点在し、栃木中央小学校の通学路にも指定されている。

しかしながら、本事業箇所には歩道が無く路肩に電柱が設置されていたことから、朝夕の通勤通学時間帯には自動車と歩行者自転車とが錯綜し、歩行者等の安全確保が困難な状況となっていた。さらに、電柱及び架空線が都市景観を阻害し、都市防災機能においても影響を与えていた。

このため、栃木県では、「安全で快適な通行空間の確保」、「街並み景観と都市防災機能の向上」、「幹線道路としての交通の円滑化」、「橋梁架替による安全・安心な通行の確保」を目的として、平成19年度から現道拡幅及び電線共同溝の整備に着手し、平成30年1月に供用を開始した。



- ◆事業名：街路づくり事業
- ◆事業主体：栃木県
- ◆事業箇所：小山栃木都市計画道路3・4・212号栃木駅東通り
一般県道南小林栃木線
栃木市^{ちろまち}壺町～栃木市^{かわいちょう}河合町
- ◆主要構造物：^{かじめいばし}開明橋 L=21.6m（高強度プレテンション方式単純T桁橋）
- ◆全体延長：L=320m
- ◆幅員：W=16.0m（車道3.0m×2、歩道3.5m×2）
- ◆総事業費：約21億円
- ◆事業期間：平成19年度～平成29年度（供用開始：平成30年1月）

2. 事業の目的・必要性

- (1) 安全で快適な通行空間の確保
- (2) 街並み景観と都市防災機能の向上
- (3) 幹線道路としての交通の円滑化
- (4) 橋梁架替による安全・安心な通行の確保

3. 事業の整備効果等

(1) 安全で快適な通行空間の確保

歩道の整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保された。

- 利用者アンケートの結果、歩道を安全に歩けるようになったと感じている割合：91%



(2) 街並み景観と都市防災機能の向上

電線類地中化を実施し、街並み景観、生活環境の向上を図り、栃木駅周辺市街地の一体化による市街地活性化を支援するとともに、災害時にも安全な道路に構築した。

- 利用者アンケートの結果、まちなみや景観が良くなったと感じている割合：91%



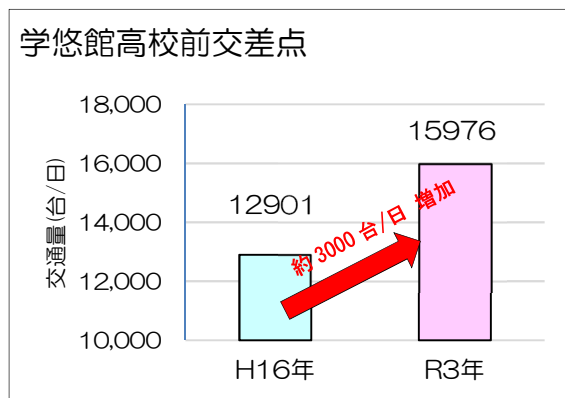
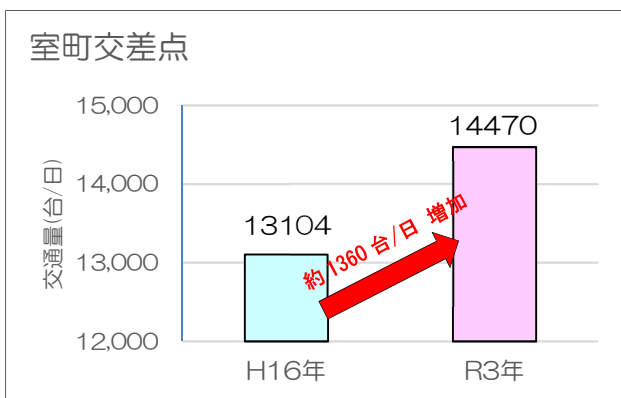
(3) 幹線道路としての交通の円滑化

橋梁及び前後の道路の拡幅、歩道の整備により慢性的な交通渋滞の緩和、車両通行時の安全性が向上した。

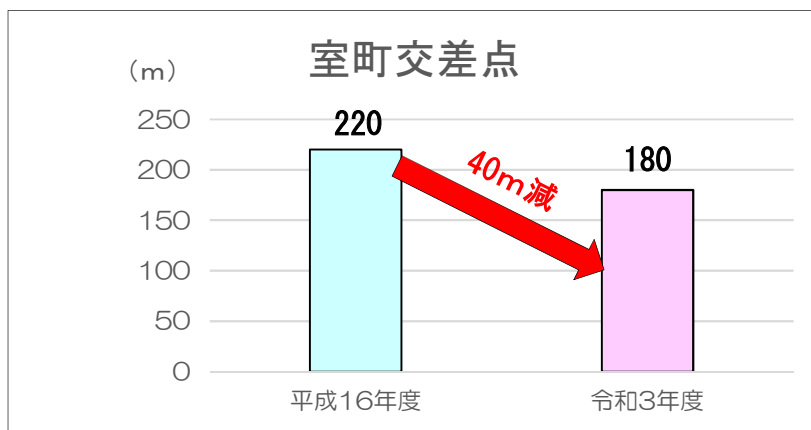
- ・利用者アンケートの結果、安全に走行できると感じている割合：86%



※交通量推移



※交通量ピーク時（16時～19時）の渋滞長の比較



(4) 橋梁架替による安全・安心な通行の確保

橋梁部分の幅員を確保し、橋梁上のすれ違い困難が解消された。

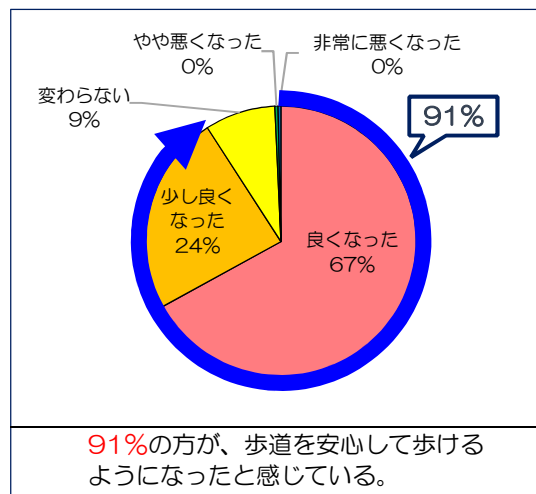


4. 地元の声（アンケート結果）

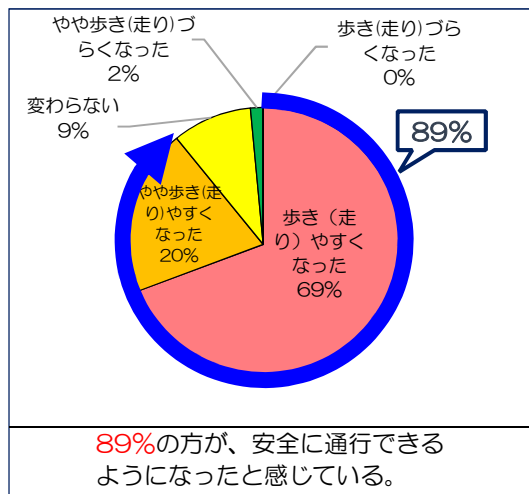
3・4・212号栃木駅東通りの整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、沿道店舗への来訪客にアンケート調査を実施した。

（回答数 406 枚 / 配布数 683 枚：回収率 59.4% ※有効回答数は設問により異なります。）

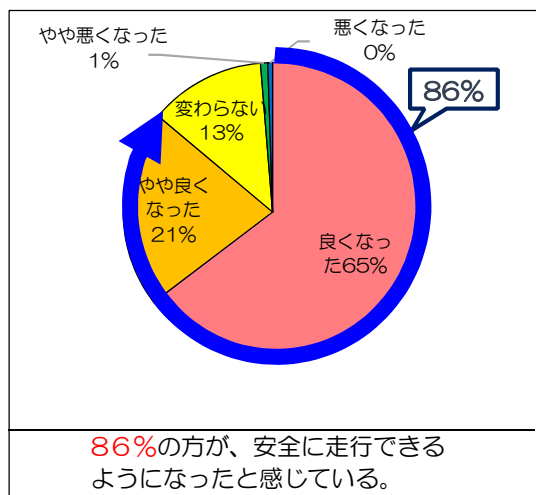
(1) 歩道の安全性（安心感）



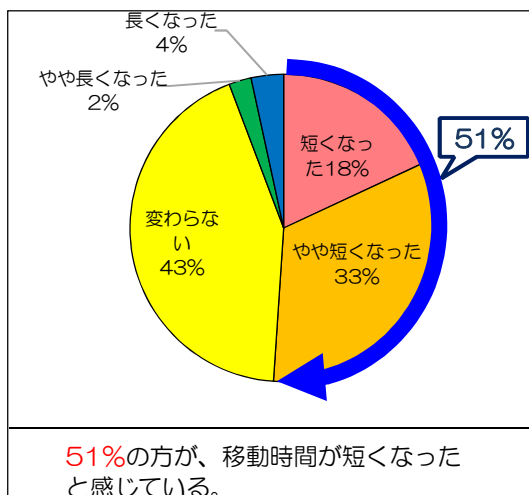
(2) 歩道の通行の変化



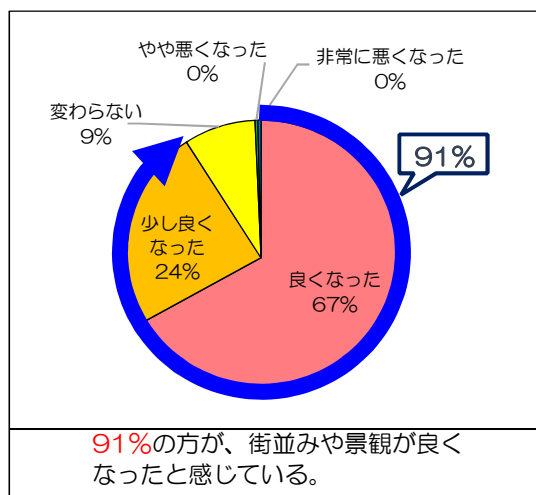
(3) 走行性の変化



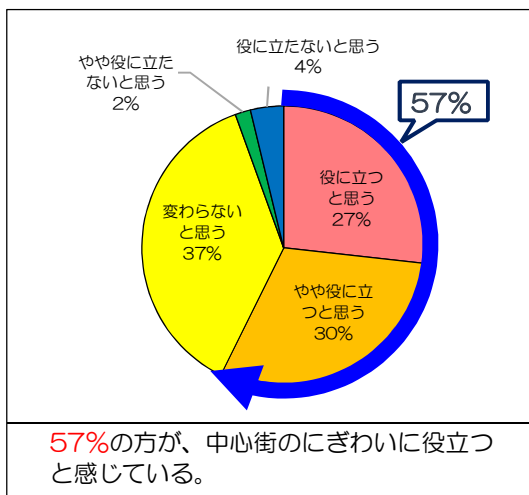
(4) 移動時間の推移



(5) 街並み景観の向上



(6) 市街地活性化の支援



(7) 自由意見（意見の多かった内容等）

- ◇ 歩道が拡がり、通行しやすくなった。
- ◇ 道路がとてもきれいになって、歩道も整備されて歩いていても安心感がある。
- ◇ 駅東通りは歩道が整備されたため、児童の安全が確保され安心して通学できると思う。
- ◇ 歩道に水たまりがなくなり、歩きやすくなった。また、白色系のためゴミ等がすくなくなったように思う。
- ◇ 歩道ができて安心して散歩するようになった。
- ◇ 散歩をしていても気持ちがいいような歩道(木々)、老人カーでも安心通行できる町を望む。
- ◆ 道路は広くなり、綺麗になりましたが、交差点の信号がなかなか変わらず信号待ちになることが多いので、そこも改善して欲しい。
- ◆ 車が多くなり信号待ちが長くなった。駅東通りの信号が長くなり、東西の信号が短く、一度で渡りきれない。
- ◆ 道路整備で道幅が広くなった分、大型車の通行が多くなった。通行量も増えた様に思う。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

本事業の整備に伴い、①安全で快適な通行空間の確保、②街並み景観と都市防災機能の向上、③幹線道路としての交通の円滑化、④橋梁架替による安全・安心な通行の確保、が確認できたと考える。また、道路利用者のアンケート調査からも事業の効果を確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考える。

一方、アンケート調査の自由意見のうち「信号サイクル」については、道路の利用状況により、さらなる改善の必要性が生じた場合には、地元住民や交通管理者等の関係機関と協議し対応していく。

6. 同種事業への反映

本事業では市中心部と栃木駅周辺のシビックコア重点整備地区を直結する道路拡幅により自転車歩行者の交通安全確保、市街地の交通混雑緩和及び沿道環境改善等の十分な効果を確認することができ、アンケート調査でも事業効果への多数の肯定的な意見をいただいた。

今後、同種事業を実施する際には、街路事業として、まちづくりと一体となり整備すべき箇所や、都市機能の強化を図る都市環状及び都市放射機能を有した箇所を優先的に選定することとし、更に地元との連携を深めて地域ニーズに即した整備を行なうなど、限られた予算の中で事業の効率性を高め、早期に事業効果が発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ